

CTL ステージ	トリガー情報	行政機関	本部活動		要支援者 避難支援対応	水防・救助	住民にとって ほしい行動		
		判断・支援	指示・調整	情報伝達	本部支援				
		須坂市	区長(本部長) 当役	組長 協議委員 連絡員	給食給水班 保健補導員 赤十字奉仕団	避難誘導班 班長:分館長 班員: 農事実行組合長 分館育成会長 民生・児童委員 小・中PTA 安協女性部員	評議員(排水路担当) 消防団 土木委員長(当役2名)		
1 注意を 向ける (3~5日 前)	台風の接近 早期注意情報【中】 以上の発表	千曲川流域警戒ステ ージを伝達	組長以下にステージ1 を伝達 当役、組長、民生委員 へ災害対策本部設置 の可能性があることを 伝達	各組長等は区長よりステージの情報を得て 危機感を共有し、連絡体制を確保する			消防団は部長から団 長へ連絡を行い、対応 への心構えをする	台風情報の確認	
2 対応方 針を決 める (2日前)	台風の接近 長野県気象情報で 北部・中部に、48 時間以内に多いと ころで150ミリ程 度の雨量が予想 (流域警戒ステ ージ2移行の連絡)	千曲川流域警戒ステ ージを伝達	組長以下にステージ2 を伝達 当役が電話、LINE等 でステージ2・災害対 策本部設置を伝達	当役・協議委員・民生委員・組長・保健補導員・赤十字奉仕団へ連絡				持ち出し品等の準備 支援者への連絡(要支 援者) 一人暮らしの高齢者は 組長へあらかじめ避難 先を伝える	
			区長、当役が気象情報 を確認し、協議委員等 へLINE等で伝達 区長は災害対策本部 設置を市役所・消防本 部へ報告	区長は役員を集め災害対策本部を公会堂に設置し、準備打合せを行う			要支援者リストを確認 本部とリストを共有 要支援者に対して情報 を伝える 避難場所、経路の周知 徹底	土木委員長が水門・止 水板の状況を点検・把 握 土木委員長が水門・止 水板の操作を実施・本 部へ報告	
	39時間先流域平 均雨量予測結果 (流域警戒ステ ージ3移行の連絡)	千曲川流域警戒ステ ージを伝達	組長以下にステージ3 を伝達 当役が電話、LINE等 でステージ3を伝達 要支援者の避難状況 を集約	当役・協議委員・民生委員・組長・保健補導員・赤十字奉仕団へ連絡		対策本部員用の食事 を準備	電話等で要支援者の 安否・状況確認を行う 要支援者の安否確認 結果を「情報連絡班」・ 「本部」へ連絡をする	消防団は待機	自宅の浸水対策の実施 低い場所にある家財の 移動
3 対応 開始 (1日前 ~当日)	自主避難所開設の 連絡	避難情報発令の予告 避難所開設の連絡が あった場合	当役・組長が電話、LINE等で自主避難要請・避難 情報予告を伝達 避難所開設の連絡を確認 町内の避難状況を集約	組長から避難誘導班へ 安否情報集計表を配布 組長が高齢者宅を訪問 し、声掛け 地域見守り安心ネッ トワークの名簿を使い、 安否情報を収集・記録 安否情報を区長・当役 に報告	要支援者の避難支援 開始		情報連絡班・本部へ支 援・避難状況の報告 避難人員の確認・報告 各自の避難場所と連 絡先把握 本部との共有・伝達	消防団による巡回 土のう準備	自主避難開始、避難 先・人数を組長や民生 委員・保健補導員へ連 絡
4 避難 実施 (当日)	高齢者等避難	高齢者等避難発令の 伝達	当役・組長がLINE・電話等で高齢者等避難を伝達 避難先で町内の避難状況を集約・確認	役員も高齢者等避難で避難を開始					高齢者等は避難開始 避難先・人数を組長へ 連絡
	避難指示	避難指示発令の伝達	当役・組長がLINE・訪問等で避難指示を伝達 当役・消防団がサイレンで避難指示を伝達 避難先で町内の避難状況を集約・確認	避難指示・サイレンで町内での活動は終了 公会堂の本部を閉鎖し、全員避難		避難指示を確認したら 地区内の支援を終了 し、各自避難場所へ避 難			避難開始 避難先・人数を組長へ 連絡
5 避難 徹底 (発災)	緊急安全確保		支援活動を終了し、全員避難を徹底。 避難情報解除まで戻らない。						避難の徹底 外への避難が難しい場 合は自宅等の高い場所 へ退避